

# アルミバン S

## (パレット車)

# 取扱説明書

## 別冊 注文装備品編

よくお読みになってご使用ください。  
取扱説明書は車の中に大切に保管してください。

## はじめに

### このたびはアルミバン S (パレット車) の注文装備品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書はアルミバン S を安全・快適にお使いいただくため、アルミバン S に関して正しい取り扱いを説明してあります。

また、注文装備品はお客様の御注文により異なりますので、お客様のアルミバン S に該当する装備品のところをお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱書」(別冊)をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 <b>警告</b>	記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
 <b>注意</b>	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや知っておくと便利なこと、してはならない行為を示すイラストは、下記の表示で記載しています。

 <b>アドバイス</b>	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
 <b>知識</b>	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
	してはならない行為

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

# CONTENTS (目次)

<b>各部の名称</b> .....	<b>2</b>
--------------------	----------

<b>主要諸元</b> .....	<b>3</b>
-------------------	----------

リフト能力 .....	3
-------------	---

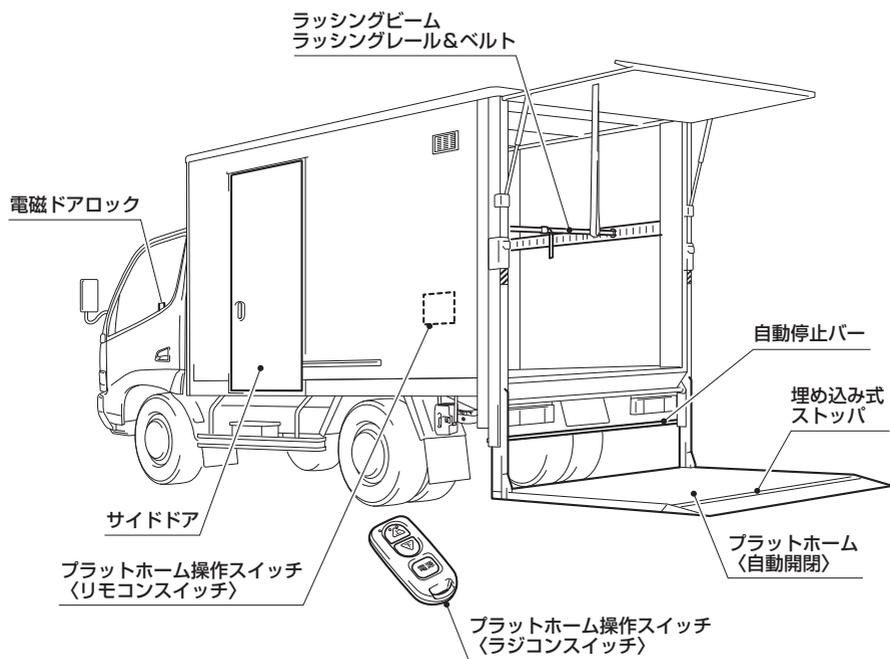
<b>専用装置、装備の使い方</b> .....	<b>4</b>
--------------------------	----------

プラットホーム〈自動開閉〉 .....	4
プラットホーム操作スイッチ 〈ラジコンスイッチ〉 .....	7
スライド式サイドドア .....	11
オープン式サイドドア .....	13
電磁ドアロック .....	16
作業灯 .....	17
埋め込み式ストッパ .....	17
後方ヒンジ式導板 .....	18
ラッシングレール&ベルト .....	19
ラッシングビーム .....	22
荷室内台車固縛装置 .....	23
輪止め・タイヤチェーン掛け .....	24
バックモニター .....	25

<b>手入れ・点検、整備項目</b> .....	<b>26</b>
--------------------------	-----------

車の手入れ .....	26
簡単な点検 .....	27

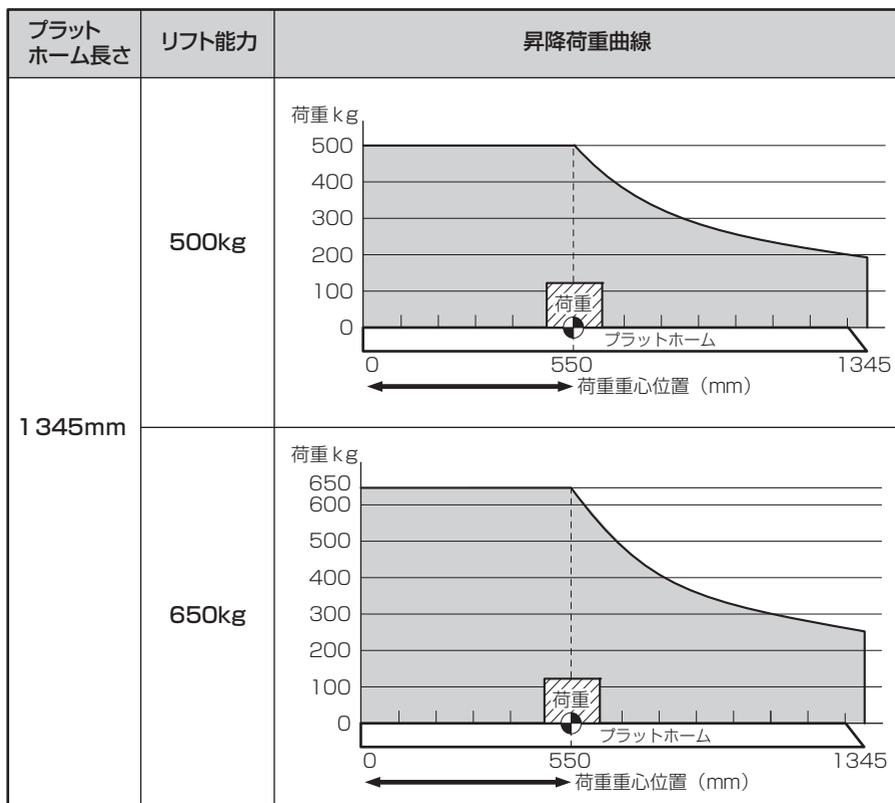
# 各部の名称



# 主要諸元

## リフト能力

リフト能力は積荷の重さ（荷重）と積荷の搭載位置関係（荷重重心位置）により決まります。プラットフォームに積荷を載せ、昇降させるときは、荷重と荷重重心位置が昇降荷重曲線の下側にあることを確認してください。



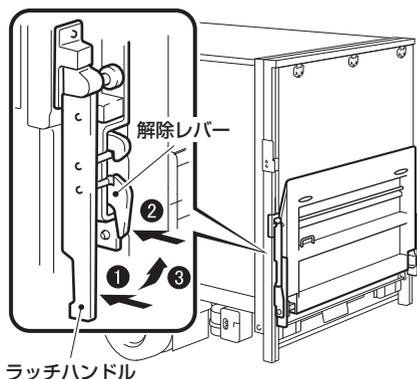
# 専用装置、装備の使い方

## プラットホーム〈自動開閉〉

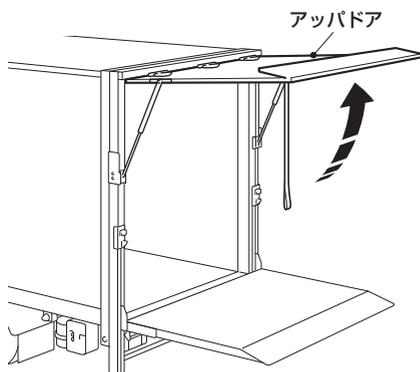
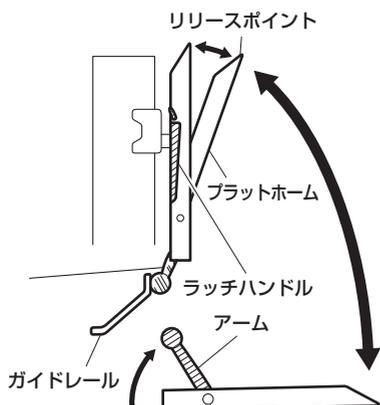
### ■ 開け方

#### ⚠ 警告

プラットホームを開けるときは、リリースポイント（ガイドレールでアームが保持されている状態）になっていることを確認してください。下降途中にプラットホームが急に開き、人や物に当たるなど重大な事故につながるおそれがあり危険です。



ラッチハンドル



- ① プラットホームのロックを解除します。

● ラッチハンドルを押さえながら  
 (①) 解除レバーを押さえ (②)、  
 ラッチハンドルを手前に引き上げて  
 (③) ロックを解除します。

- ② プラットホームはリリースポイントまで自然に開きます。

#### 🎓 知識

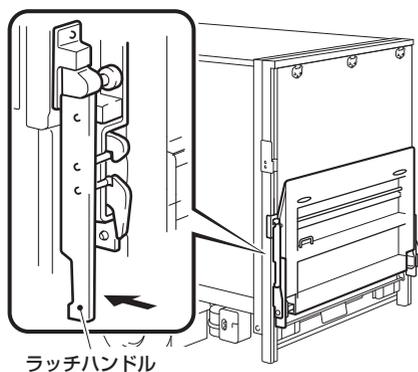
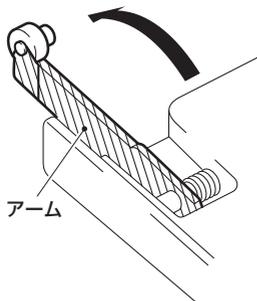
坂路等で自然に開かない場合は、軽く手で押して、リリースポイントまで動かしてください。

- ③ プラットホーム操作スイッチの「下」を押し、プラットホームが水平になり、アームが起き上がるまで下降させます。

#### ⚠ 警告

プラットホームを開いたときは、確実にアームが起きていることを確認してください。アームが起きていないと、不意にプラットホームが閉まる、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

- ④ アップパドアを開けます。



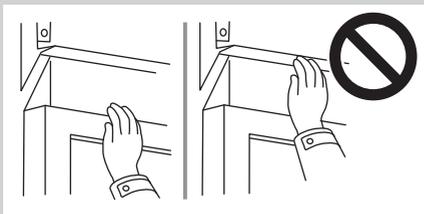
## ■閉め方

- ① アップドアを閉めます。
- ② アームを倒します。
  - “カチッ” と掛かり音がしたらアームがロックされます。
- ③ プラットホーム操作スイッチの「上」を押します。
  - プラットホームは自動的に起立し、リリースポイントで停止します。
- ④ プラットホームが停止したら、手で押しながらラッチハンドルをかけます。

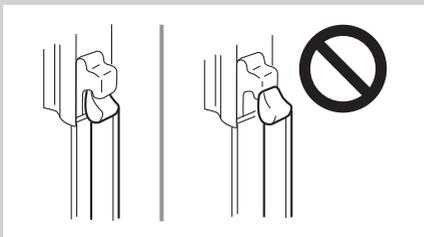
## ⚠ 警告

- プラットホームを開閉するときは、周囲に障害物がないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。プラットホームが人や物に当たり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- プラットホームを開閉途中で止めたときは、物をのせるなど、人や物で力を加えないでください。アーム等が曲がるなど、リフト機構が破損するおそれがあります。
- プラットホームを昇降操作するときは、確実にアームが起きていることを確認してください。プラットホームが不意に閉まり、荷物が破損するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行前に、必ずハンドルとヒメールおよびラッチとピンをロックしてください。ロックしていないと、不意にプラットホームが開き、積荷が落下するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

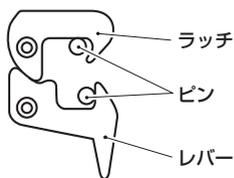
## ⚠ 注意



- プラットホームを閉めるときは、手を挟まないように安全な部分を持ってください。



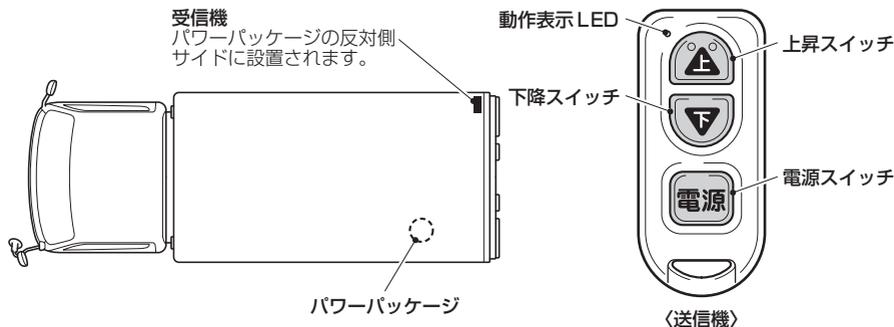
- ハンドルとヒメールが確実にロックされていることを確認してください。



- レバー、ラッチがピンにかかり確実にロックされていることを確認してください。

## プラットホーム操作スイッチ〈ラジコンスイッチ〉

受信機より半径約 1m の範囲で、プラットホームの昇降操作ができます。



### ■昇降のしかた

- ①車を水平な場所に止め、必ずパーキングブレーキをかけ、タイヤに輪止めをします。
  - エンジンはかけたままにしておきます。
- ②メインスイッチを「ON」にし、プラットホームを引き出します。(TECS 標準  
装備取扱書参照)
- ③送信機を取り出し、電源スイッチを押します。
  - 動作表示 LED が赤色点灯します。
- ④動作表示 LED が赤色点灯中(6 秒以内)に上昇または下降スイッチを押し続けます。
  - プラットホームは上昇スイッチを押している間、上昇し、下降スイッチを押している間、下降します。
  - 上昇または下降スイッチを押している間、動作表示 LED が緑色点滅します。
  - スイッチから指を離すとその位置で停止します。
  - プラットホームがいっぱいまで下降および上昇したらスイッチから指を離してください。



### アドバイス

- 断続的に下降または上昇スイッチを押さないでください。故障の原因となりますので、スイッチは押し続けてください。
- スイッチの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切り替えを行うと、リフト装置が故障するおそれがあります。



### 知識

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内に下降または上昇スイッチを押し続けないと、自動的に電源が切れます。(動作表示 LED 消灯)
  - ・下降または上昇スイッチを操作すると、電源はスイッチから指を離れた時点より 6 秒延長します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、プラットホームは作動しません。

## 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

## アドバイス

ラジコンスイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、以下の点に注意してください。

- ダッシュボードの上など、直射日光の当たる場所および高温になるところに置かないでください。
- スイッチに無理な力を与えないでください。
- スイッチは鋭利なもので操作しないでください。孔・切り傷等が発生しますと防滴機能が損なわれます。
- 分解しないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください。水たまりなど、水中に落下させると故障します。
- 送信機の清掃にシンナー、ガソリン、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってから拭いてください。

## 知識

- ラジコンは周囲の状況により作動可能距離が変わることがあります。
- 周囲の電波状態により、下降または上昇スイッチを押してもプラットフォームがまれに停止する場合や作動しなくなることがあります。そのときは、以下のことを行ってください。
  - ・立つ位置をかえて操作してください。その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置を変えてもプラットフォームは作動しません。
  - ・リモコンスイッチで操作してください。
- 送信機もしくは受信機を交換したときは、受信機のIDコードを登録する必要があります。登録は販売店にお申しつけください。
- ラジコン操作をしてもプラットフォームが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示LEDが暗くなったり、点滅しなくなった場合、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。(次ページ参照)

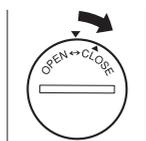
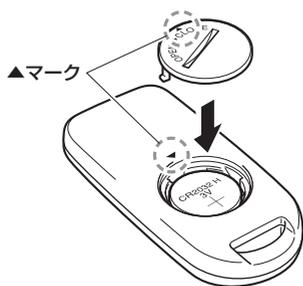
## ■送信機の電池交換

送信機のスイッチを押しても動作表示LEDが点滅または点灯しなかったり、作動距離が著しく短くなった場合は、電池切れが考えられます。

以下の要領で電池を交換してください。

●電池は販売店、時計店、カメラ店などでお求めください。

使用電池..... リチウム電池 CR2032



①コインなどを電池フタの溝に差し込みます。

②▲マークが合う位置まで「OPEN」側に回し、電池フタをはずします。

③電池を交換します。

●電池を取り出し、新しい電池の⊕側を上にして挿入します。

④電池フタと送信機の▲マークを合わせ、電池フタをはめます。

⑤コインなどを電池フタの溝に差し込みます。

⑥「CLOSE」側に回し、電池フタを締め込みます。

⑦作動確認をします。

●電源スイッチを押し、動作表示LED赤色点灯中(6秒以内)に下降または上昇スイッチを押して、動作表示LEDが緑色点滅することを確認します。

 **警告**

取りはずした電池や部品を（とくにお子さまが）飲み込まないようにご注意ください。  
飲み込むと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

**アドバイス**

- 電池交換時には、取りはずした部品を紛失しないようにご注意ください。
- 電池フタを曲げたりしないように注意してください。
- 電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして取りつけてください。
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などが付着しないように注意してください。

## スライド式サイドドア

### ■ 開け方

ハンドルを握り、後方へ引くとロックがはずれてドアが開きます。

- 全開まで開けると、ストッパスプリングで固定されます。

### ⚠ 注意

作業をするときは、必ずサイドドアを全開にしてください。傾斜地では自然にドアが動くことがあり、けがをするおそれがあります。

### ■ 閉め方

ハンドルを持ってドアを全閉させるとドアがロックされます。

- 半ドアまで閉めるとイージークローザーが作動します。(次ページ参照)

### ⚠ 警告

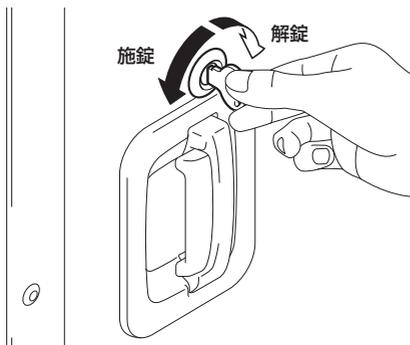
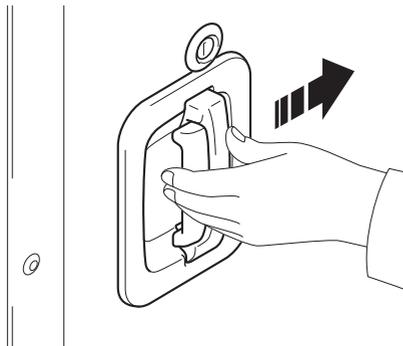
サイドドアを閉めるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。荷室内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ 施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、左に回転させると施錠、右に回転させると解錠されます。

### ⚠ 警告

車から離れるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認し、サイドドアを閉め施錠してください。誤って人が荷室内に閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあり危険です。また、盗難のおそれもあります。



---

## イージークローザー

---

ドアを半ドアの位置まで閉めると、自動的にドアが動き、全閉になります。

### ⚠ 注意

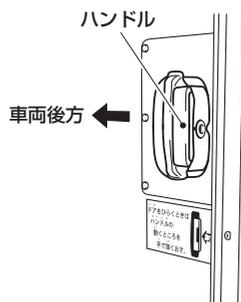
半ドア状態のときドアが自動的に閉まるため、指を挟まないよう十分注意してください。

### 👉 アドバイス

イージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。無理な力をかけるとイージークローザーの故障の原因となります。

### 🎓 知識

ドアハンドルを引いたままドアを閉めると、イージークローザーは作動しないことがあります。




---

## 非常用ハンドル

---

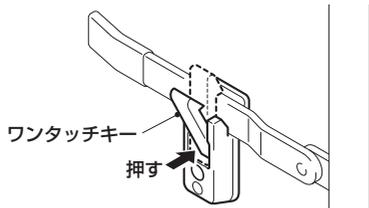
非常ハンドルはサイドドア内側にあります。

- ハンドルを握り、後方へ引くとロックがはずれてドアが開きます。
- ドアの施錠に関係なく開けることができます。

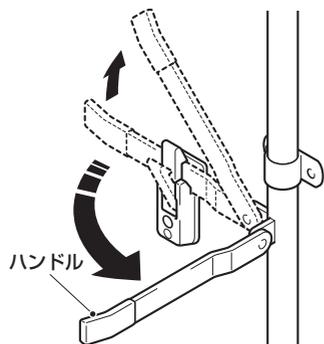
## オープン式サイドドア

### ■ 開け方

① ワンタッチキーの下側を押します。



② ハンドルを持ち上げたまま回し、手前に引きます。

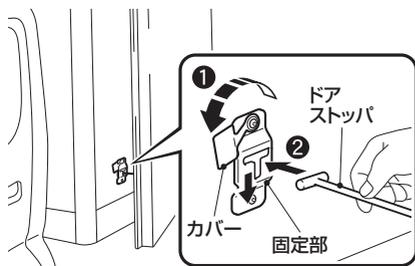


## ■ 固定のしかた

ドアを全開にしたときは、ドアストップで固定します。

### 標準ボディ

ドアストップを固定部に差し込みます。



### ロングボディ

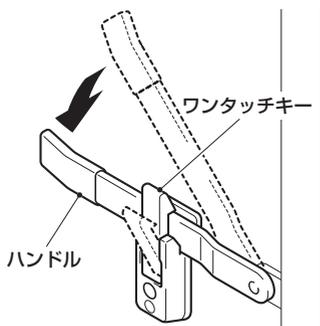
- ① カバーを開け (1)、ドアストップを固定部に差し込みます (2)。
- ② カバーを閉めます。

## ⚠ 注意

サイドドアを開けたときは、必ずドアをドアストップで固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあります。ドアだけがをるおそれがあります。

## 🎓 知識

仕様により、取り付け方法が異なります。



## ■ 閉め方

ハンドルをワンタッチキーに差し込みます。

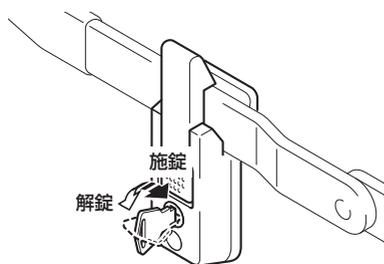
●自動的にロックされます。

### ⚠ 警告

サイドドアを閉めるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。荷室内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあります。

### ⚠ 注意

サイドドアを閉めたときは、ドアを軽くゆさぶり、確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。



## ■ 施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。

### ⚠ 警告

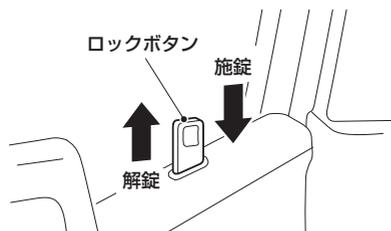
車から離れるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認し、サイドドアを閉め施錠してください。誤って人が荷室内に閉じこめられると、中からドアを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあります。また、盗難のおそれもあります。

## 電磁ドアロック

### 電磁ドアロック

スライド式サイドドアの施錠・解錠が運転席で同時にできます。

●エンジンスイッチに関係なく使用できます。

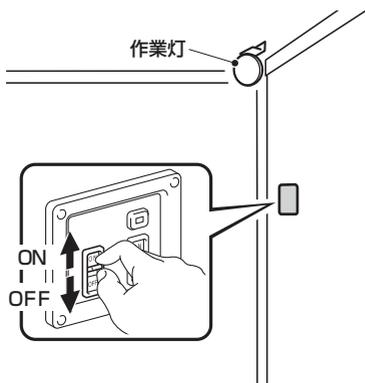


#### ■キーを使つての施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込み、キーを車両前側にまわすと施錠、車両後側にまわすと解錠されます。

#### ■ロックボタンを使つての施錠と解錠

運転席ドアのロックボタンを押し下げると施錠、引き上げると解錠されます。



## 作業灯

スイッチを「ON」にすると点灯し、「OFF」にすると消灯します。



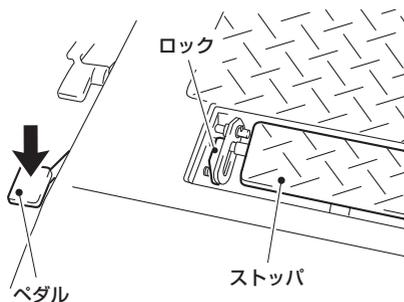
### アドバイス

- 作業終了後や長期間車を使用しないときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。バッテリーあがりの原因となります。
- 点灯回数で寿命が変わります。必要なとき以外は「OFF」にしてください。

## 埋め込み式ストッパ

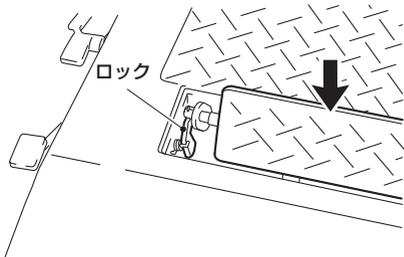
### ■起こし方

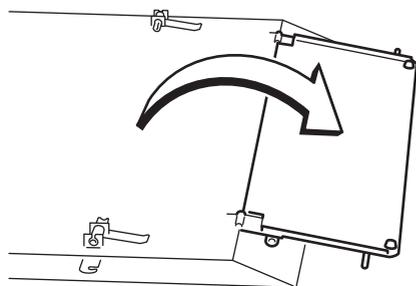
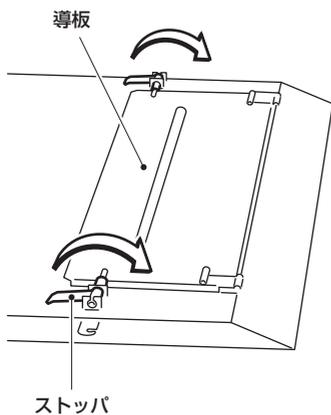
ペダルを押しつけるとロックが解除され、ストッパが起きあがります。



### ■格納のしかた

ストッパを押しつけるとロックがかかり、ストッパが格納されます。





## 後方ヒンジ式導板

### ■ 開け方

- ① 車を平坦な場所におき、必ずパーキングブレーキをかけ、輪止めをします。
- ② ストッパを矢印方向にまわします。
- ③ 導板を後方に倒します。

### ■ 閉め方

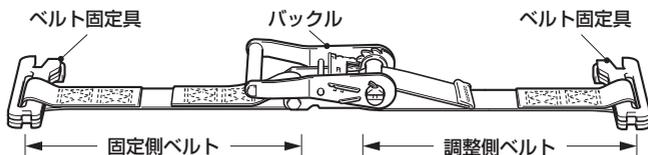
開けたときの逆の手順で行います。

### ⚠ 警告

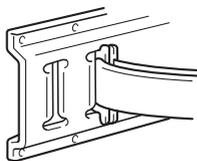
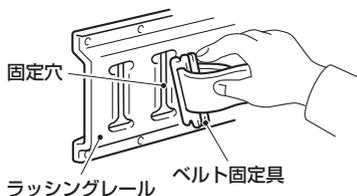
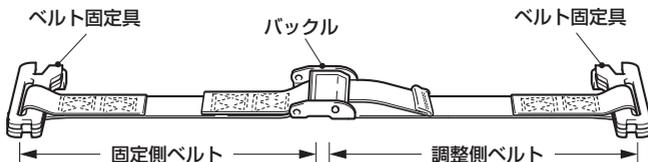
後方ヒンジ式導板の開閉はプラットホーム昇降操作時には行わないでください。プラットホームが不意に閉じたり、プラットホームに手や足を巻き込まれてけがをするなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## ラッシングレール&ベルト

### 重荷重タイプ



### 軽荷重タイプ

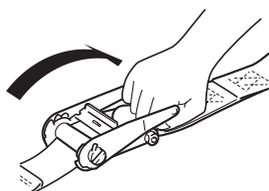


### ■ベルト固定具（3枚一組）の使い方

- ① 固定具中央の1枚の上端を人差し指で手前に引いたまま、左右の2枚を固定穴の上部に差し込んだ後、下側を差し込みます。
- ② 中央の一枚を押し込みます。
- ③ ラッシングレールの固定穴の中で3枚が結合して取り付けができます。

### ■取りはずし方

中央の1枚を取りはずし、次に左右の2枚を取りはずします。



## ■ 締め方

### 重荷重タイプ

- ① 調整側ベルトのゆるみを取り、ハンドルを前後に操作し、ベルトを巻き取りながら締めます。
  - ベルトは巻き取り軸に2回以上巻き取ります。
- ② ハンドルを完全に倒し、ロック状態にします。
  - 中間状態では使用しないでください。

### 軽荷重タイプ

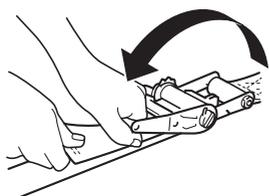
調整側ベルトを矢印の方へ強く引いて締めます。

## ■ ゆるめ方

### 重荷重タイプ

調整側ベルトを引きながらハンドルを180°ほど開きます。

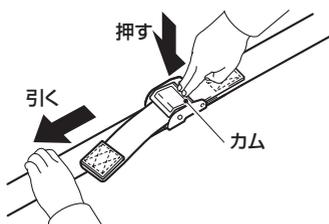
- 巻き取り軸が開放状態となりベルトがゆるみます。



### 軽荷重タイプ

カムを押して、ベルトをゆるめます。

- カムを押しながら調整側ベルトを矢印の方へ引くと、さらにゆるみます。



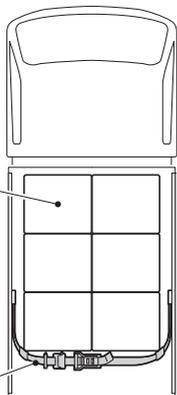


## アドバイス

ベルトを水平にかけないでください。荷室内の壁をはがしてしまうおそれがあります。

積荷

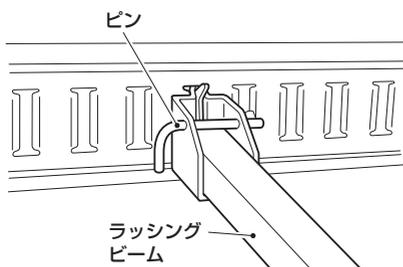
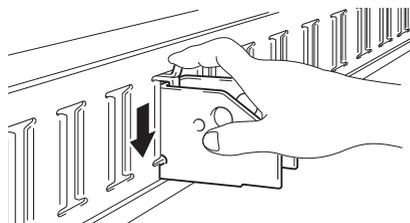
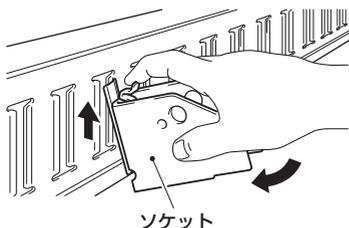
ラッシングベルト



&lt;良い例&gt;



&lt;悪い例&gt;



## ラッシングビーム

### ■ 取り付け方

- ① ソケットをラッシングレールに対して垂直に持ちます。
- ② 中央の板を人差し指で押さえながら、上側を取り付け穴に差し込みます。
- ③ ソケットの下部が取り付け穴に当たるまで押し下げ、人差し指を離します。
  - ソケットは自動的にロックされます。
  - 反対側も同様に行います。
- ④ 両側のソケットの間にラッシングビームを渡し、ピンを差し込みます。

### ⚠ 注意

ラッシングビームを取りつけたときは、必ずピンを差し込んでください。ピンが差し込まれていないと、不意にラッシングビームがはずれ、積荷が損傷するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ 取りはずし方

- ① 両側のソケットから、ピンを抜き取り、ラッシングビームをはずします。
- ② ソケットを持ち人差し指で中央の板を手前に引きながら持ち上げます。
- ③ ラッシングレールからソケットを取りはずします。
  - 反対側も同様に行います。

## 荷室内台車固縛装置

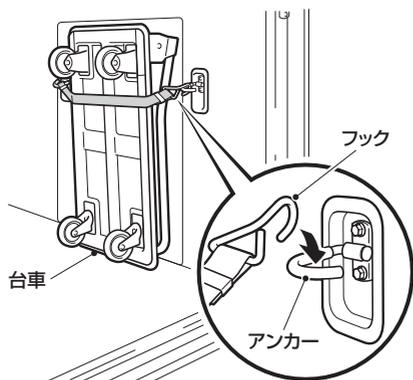
荷室内後部に台車を格納・固縛することができます。

### ■ 固縛可能な台車のサイズ

長さ	幅
900mm	600mm

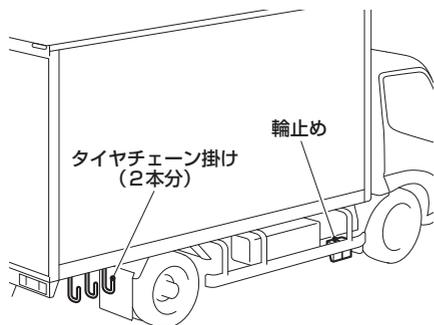
### ■ 台車の格納・取り出し

- 台車を格納するときは、台車を立てた状態で、荷室右側のベルトで固縛します。
- 台車を固縛しないときは、ベルトのフックをアンカーに引っかけておきます。



### 👉 アドバイス

- 台車を固縛したときは、台車を軽くゆさぶり、台車が倒れないことを確認してください。台車が倒れると積荷・台車および荷室内板を損傷するおそれがあります。
- 台車を固縛しないときは、ベルトのフックをアンカーに引っかけてください。ベルトを放置しておくと、フックが積荷および荷室内板に当たり、損傷するおそれがあります。



## 輪止め・タイヤチェーン 掛け

ボディ下部に装備されます。

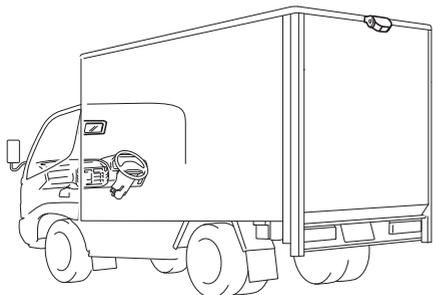
### ⚠ 注意

- 走行前に輪止めが確実に収納されていることを確認してください。収納が不完全の場合、走行中に輪止めが落下し、後続車や人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤチェーン掛けには3本以上のチェーンを掛けないこと、また均等に掛かっていることを確認してください。掛け方が不安定な場合、走行中にチェーンが落下し、後続車や人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 🎓 知識

仕様により、取り付けができない、または、位置がイラストと異なる場合があります。

## バックモニター



ここでは簡単な取り扱い方法のみ記載してありますので、詳しい取り扱いにつきましては、お客様のお車に装備されたバックモニターの取扱書をお読みください。

### ■バックギヤ連動（自動）の場合

バックギヤにいれると自動的に画像を映し出します。

### ■連続（手動）の場合

バックモニターのスイッチを ON にすると画像を映し出します。

## ⚠ 注意

バックモニターの画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。カメラが映し出す範囲には限度があり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。後退するときは、必ず後方および周囲の安全を直接確認してください。

## 🎓 知識

バックモニターの種類により、操作方法、機能等が異なる場合があります。

# 手入れ、点検・整備項目

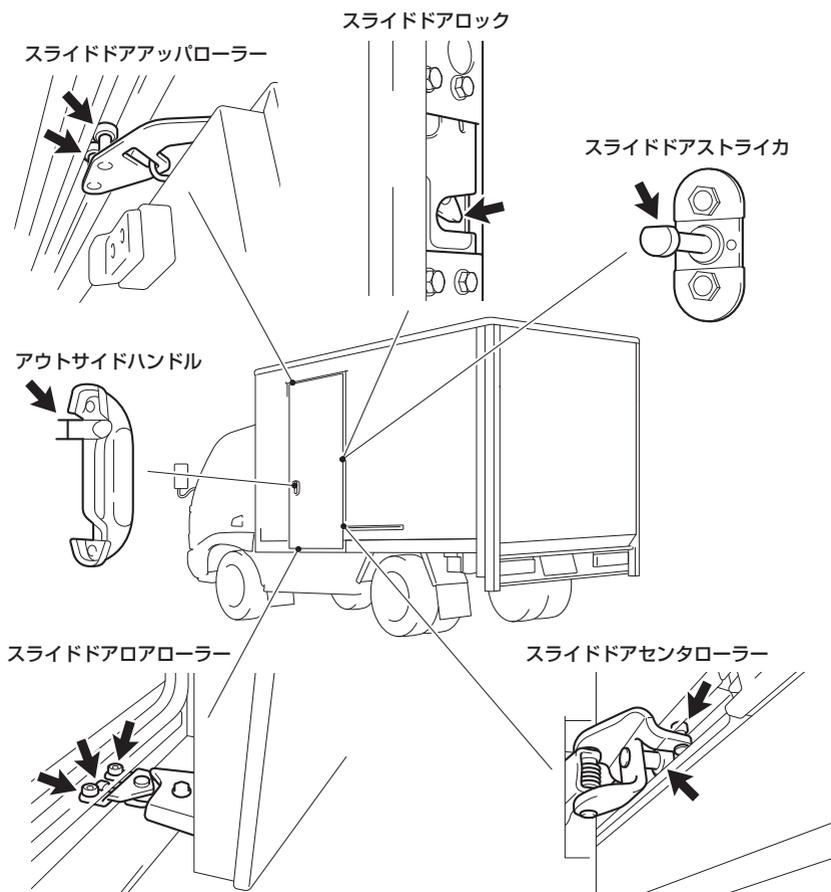
## 車の手入れ

故障を減らして長く大切に使うためにお手入れをお願いします。

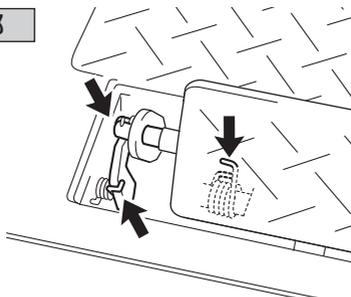
### 給油脂

3か月に一度の割合で下記の箇所にグリースを塗布してください。

#### スライド式サイドドア部



## 埋め込み式ストップ部



## 簡単な点検

## 作業灯

24V 車..... 24V/35W

12V 車..... 12V/35W

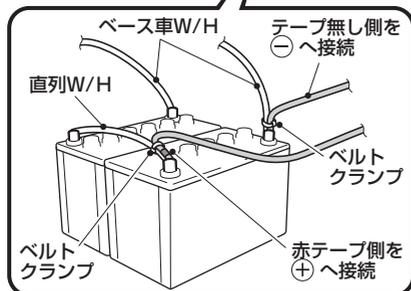
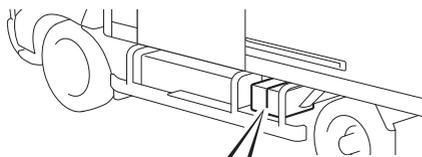
## スライドドアローラーの点検

12 か月ごとに各スライドドアローラー（前ページ参照）の点検をしてください。

● 割れ、欠損がないことを確認してください。

## バッテリーの交換

## スライド式サイドドア装着車



スライド式サイドドア用イージークローザーの電源は、バッテリーから直接取っています。（12V で作動します）  
バッテリー交換するときは、必ず左図の通りに接続してください。

## 知識

必ず左図のように接続してください。  
接続を誤るとイージークローザーが作動しなくなります。

● 配線のクランプは誤った接続を防止するために設けられていますので、クランプは絶対にはずさないでください。

*MEMO*

*MEMO*

# アルミバン S (パレット車)

適用車種

トヨタ ダイナ、日野 デュトロ



車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈注文装備品のお問い合わせは下記へお願いいたします〉

商用ビジネス部

TEL (0566) 36-2497 FAX (0566) 36-2498